

令和4年度 企画財政部 重点施策の実施結果

達成状況
 S … 目標を上回る結果となった
 A … 目標通り達成した
 B … 達成したが課題が残っている
 C … 達成できなかった

総 括	・第2次菊川市総合計画及び第2期菊川市まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗管理報告書を作成し、総合計画審議会で審議しました。 ・デジタル化を推進するため、申請管理システムを導入し、マイナンバーカードを活用したオンライン申請を開始しました。 ・市公式SNSを活用し、市政情報やまちの話題などの情報発信を828回行いました。 ・「きくがわ応援大使」を対象に移住定住モニターツアーを実施しました。 ・「行政経営システム」を活用し、令和5年度当初予算案を作成しました。 ・行政経営課題達成プロジェクトとして設定した「基金の新たな運用体制構築による運用益の確保」について、菊川市資金管理方針を策定し、運用体制を構築しました。 ・税目別では、個人住民税、固定資産税、国民健康保険税の収入率は目標を達成しましたが、軽自動車税は目標達成に至りませんでした。
-----	--

	重点施策・事業	取 組 内 容	達成目標	達成状況	実施結果
1	「第2次菊川市総合計画」及び 「第2期菊川市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の推進 (企画政策課)	第2次菊川市総合計画及び第2期菊川市まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗管理を行います。	令和4年7月末までに、令和3年度分の総合計画及び総合戦略の進捗状況報告書を作成し、総合計画審議会で審議します。 ※令和4年度分の進捗状況報告書は令和5年度に作成します。	A	第2次菊川市総合計画及び総合戦略の令和3年度進捗状況については、進捗状況報告書を作成し、令和4年7月14日に開催した総合計画審議会で審議いただきました。 また、議会全員協議会において、総合戦略の令和3年度進捗状況について報告し、関係資料については、市民に広く周知するため、市ホームページで公表しました。

	重点施策・事業	取 組 内 容	達成目標	達成 状況	実施結果
2	「菊川市D X (デジタル・ト ランスフォー メーション) 推 進方針」に基づくデジタル化の 推進 (企画政策課)	本市のD X推進について、アドバイザーの助言を受けながら取り組みます。マイナンバーカードの普及を促進するため、国のマイナポイント事業における予約申込の支援を実施します。また、申請管理システムを導入し、マイナンバーカードによるオンライン申請と庁内情報システムを連携します。 A I・R P Aを活用した新たな業務について検討し、業務の効率化を図ります。	申請管理システムを導入し、マイナンバーカードによる子育て及び介護に関する手続きのオンライン化を開始します。	A	申請管理システムを導入し、子育て及び介護等に関する手続についてマイナンバーカードを活用したオンライン申請を開始しました。
3	広報・シティプロモーションの 強化 (営業戦略課)	民間人材をアドバイザーとして迎え、広報・シティプロモーションと移住・定住を一体的かつ戦略的に進めます。日々のS N S、移住相談会、テレビのデータ放送を活用した「自治体広報情報サービス」などにより市内外に本市の魅力を発信します。また、移住定住希望者等に訴求するためのコンテンツを発掘・整理し、それらを活用したモニターツアーを実施します。	①市公式フェイスブック及びツイッターによる情報発信を800回以上を行います。 (令和4年3月末現在の発信回数：819回) ②令和4年12月末までに、本市の魅力訴求コンテンツを発掘・整理し、移住定住モニターツアーを実施します。	B	①市政情報やまちの話題、市の魅力などを公式S N Sを活用して積極的に発信しました。その結果、公式フェイスブック及びツイッターによる情報発信は828回となり、目標の800回以上を達成しました。 ②移住定住希望者等に訴求するためのコンテンツ発掘・整理に向け、移住・定住につながる関係人口の創出・拡大、首都圏等市外在住者の意見を聴取する仕組みづくり等を目的に「きくがわ応援大使」を立ち上げ、会員の募集やオンラインコミュニティの運営を行いました。また、会員を対象に移住定住モニターツアーを実施し、今後の移住定住施策に向けた提案をいただきました。なお、令和4年12月末までの実施を目標としていましたが、コンテンツの発掘・整理等に時間を要し、令和5年2月の実施となったため達成状況はBとしました。

	重点施策・事業	取 組 内 容	達成目標	達成状況	実施結果
4	「行政経営システム」を活用した持続可能な行財政運営の推進 (財政課・企画政策課)	「行政経営システム」の検証、見直しにより実効性の向上を図り、令和5年度の予算編成を進めます。	令和5年2月までに、令和3年度行政評価結果を活用した令和5年度当初予算案を作成し、議会に提出します。	A	令和3年度行政評価結果より、令和5年度事業レビューを行い、各部から新規事業や重点事業についてのヒアリングを実施しました。 令和5年度当初予算については、令和4年度実行計画入力結果から財政フレームを示すなど行政経営システムを活用して、当初予算案を作成し、議会へ提出しました。
5	「行財政改革」から「行政経営」へ ～ 経営資源を活用した歳入確保と業務効率化 ～ (財政課)	「菊川市行政経営推進方針2022」に基づき、行政経営課題達成プロジェクトとして設定した課題の解決を図ります。	行政経営課題達成プロジェクトとして設定した課題を1件以上解決します。	A	令和4年度の課題達成プロジェクトでは①「基金の新たな運用体制構築による運用益の確保について」と②「PFI手法の優先的検討規程の策定」の2つをテーマとして設定しました。 ①については、菊川市資金管理方針を策定し、運用体制の構築が完了したことから、目標達成となりました。②については、現在、規程(案)の策定まで完了しているため、早期策定に向け規程(案)の精査を進めます。
6	適正な市債権の管理 (税務課)	市税については、収入率の数値目標を設定し、常に徴収状況の管理を行いながら目標達成を目指します。また、税以外も含む市債権については、関係部署と連携・協力し、市民の皆様の公平な負担のために未収金の削減に努めます。	次の収入率(現年度分＋過年度分)目標を達成します。 ・個人住民税 96.07% (96.05%) ・固定資産税 98.07% (97.97%) ・軽自動車税 95.95% (95.81%) ・国民健康保険税 86.78% (86.06%) ※括弧内は令和2年度実績	C	令和4年度の収入率実績は、個人住民税96.38%、固定資産税98.64%、軽自動車税95.86%、国民健康保険税87.89%となりました。軽自動車税が、目標達成には至りませんでしたが、令和3年度収入率(95.56%)よりも上回っています。 引き続き滞納者の財産調査等を実施し、迅速かつ積極的な催告や滞納処分を行い収入率の向上に努めます。